

# 2020年12月期（第107期） 第1四半期 決算概要資料

日華化学株式会社

（証券コード：4463）

2020年4月28日

## 1. 2020年度 第1四半期業績

---

2020年度 第1四半期 決算サマリー	4
セグメント別業績	5
2020年度 第1四半期 経営環境	6
売上高増減要因(対前年)	7
経常利益増減要因(対前年)	8
化学品セグメント 業績詳細	9
化粧品セグメント 業績詳細	10
特別損益の概要	11

## 2. 2020年度 業績予想

---

通期業績予想	13
セグメント別 通期業績予想	14

## 3. 参考情報

---

コロナ感染拡大防止対策と稼働状況	16
会社概要	17

# 2020年度 第1四半期 業績

---

- 売上高は前年度比△10億円で2年連続の減収。一方各種経費の減少等に伴い利益率が改善したことにより  
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が増加

単位：百万円

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	11,559	<b>10,476</b>	△1,083	△9.4%
営業利益 (営業利益率)	131 1.1%	<b>136</b> 1.3%	+4	+3.5%
経常利益	96	<b>170</b>	+74	+77.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-58	<b>104</b>	+163	-

- 化学品事業は売上高△7.3億円(△8.8%)減収、セグメント利益は1.2億円(+89.2%)増益
- 化粧品事業は売上高△2.4億円(△8.2%)減収、セグメント利益は△0.7億円(△17.8%)減益

単位：百万円

セグメント	2019年度 第1四半期		2020年度 第1四半期		前期比		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
化学品	8,334	141	<b>7,598</b>	<b>268</b>	△736	△8.8%	+126	+89.2%
化粧品	2,995	419	<b>2,749</b>	<b>344</b>	△245	△8.2%	△74	△17.8%
その他	228	31	<b>127</b>	<b>3</b>	△101	△44.2%	△27	△87.4%
消去等	-	-460	-	<b>-480</b>	-	-	△19	-
合計	11,559	131	<b>10,476</b>	<b>136</b>	△1,083	△9.4%	+4	+3.5%

## ■事業分野外部環境等

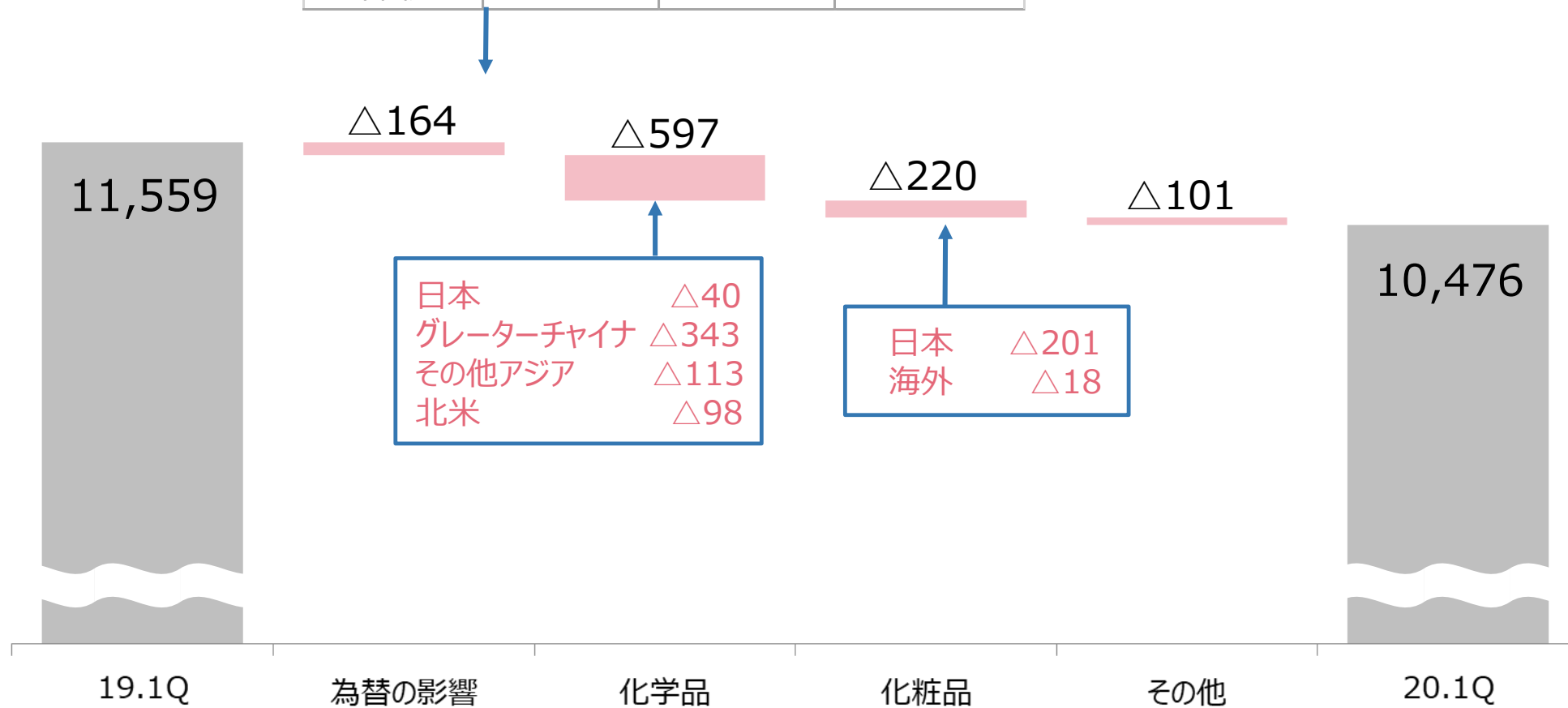
○-× : 環境・影響の評価

繊維加工	日本	×	3月よりコロナの影響による消費減速を見越した受注減 アパレル 2Q以降落込み、百貨店△50~70%、ファストファッション△30%見込
	海外	×	中国/コロナの影響で各企業2月長期工場稼働停止、繊維製品輸出額1Q△17.7% 2Q△30%予想 その他各国/一部を除き1Qで影響大、2Qは全ての子会社展開国で大幅受注減
自動車	日本・海外	×	乗用車販売不振 1-3月前年同期比 日本△10.2% (△14万台)、中国△45.4% (△239万台)、米国△25.3% (△30万台)、インド△22.4% (△19万台)
製紙	日本	×	家庭紙、衛生紙分野は堅調も再生紙は広告減もあり新聞需要減加速
クリーニング & メディカル	日本	×	コロナの影響でクリーニング店、ホテル、コインランドリー来客激減
殺菌・手指消毒剤	日本	○	メディカル用は需要増
化粧品	日本	-	コロナ対策で需要旺盛も手指消毒剤は小型容器入手困難等で+要素は限定的
	海外	×	コロナで美容室来店客低調も販売奨励金制度の関係もあり代理店販売は微減 代理店在庫増2Qに影響、大口ODM大幅減、1Q後半より美容室売上大幅減へ
数値指標 (前年比)	為替	×	韓国/コロナで釜山、大邱地区美容室2/初~3/末休業と影響大、4月来店客△50%
	ナフサ	×	円/米ドル・109.22円で1.1%円高。中国元は5.0%、ウォンは7.2%円高
		×	1Q予想44,600円 (前年同期比+13.7%上昇)、2Q予想23,600円

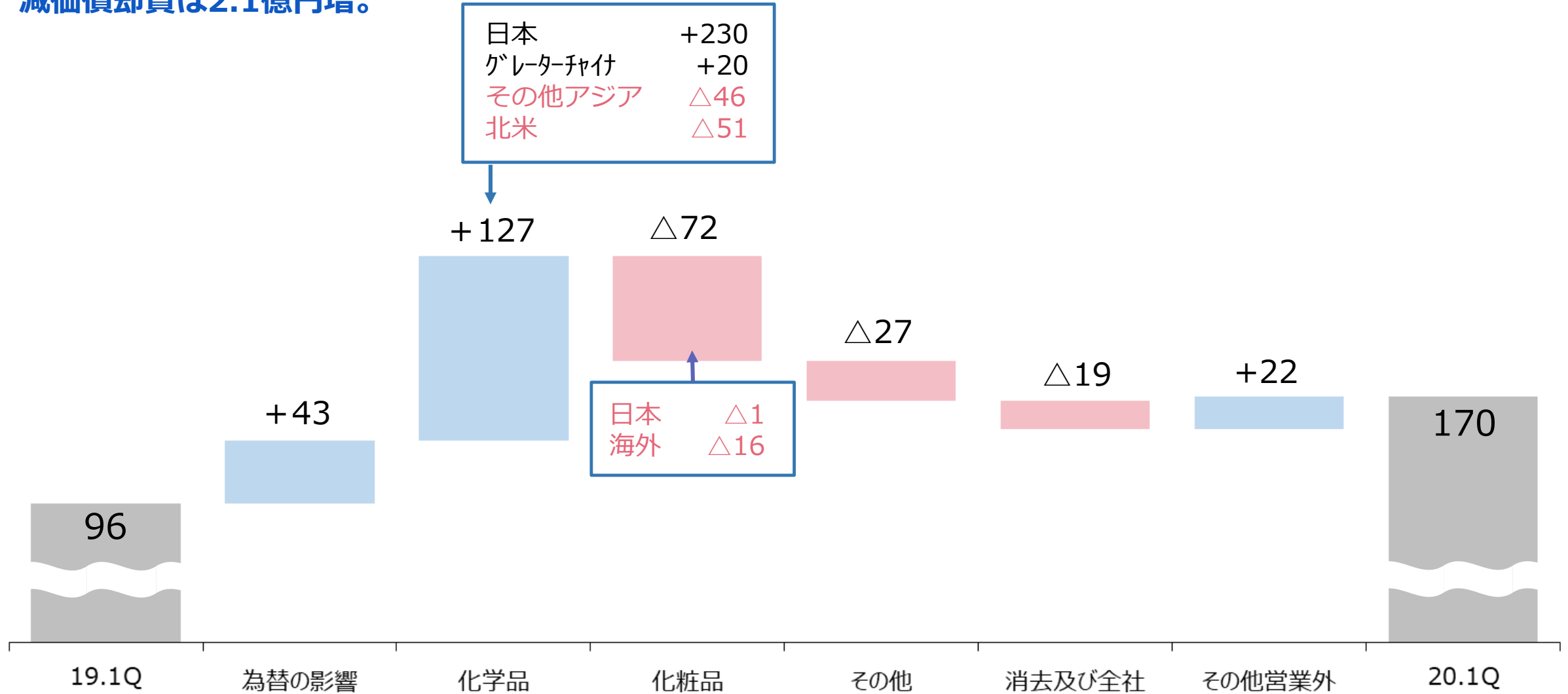
## ■ 円高による影響で△1.6億円、化学品事業で△5.9億円、化粧品事業で△2.2億円の減収

単位：円

期間為替	19.1Q	20.1Q	備考
米ドル	110.45	<b>109.22</b>	1.1%円高
中国元	16.368	<b>15.560</b>	5.0%円高



- 円高による影響で0.4億円及び化学品事業で1.2億円の増益、化粧品事業で△0.7億円の減益。  
減価償却費は2.1億円増。

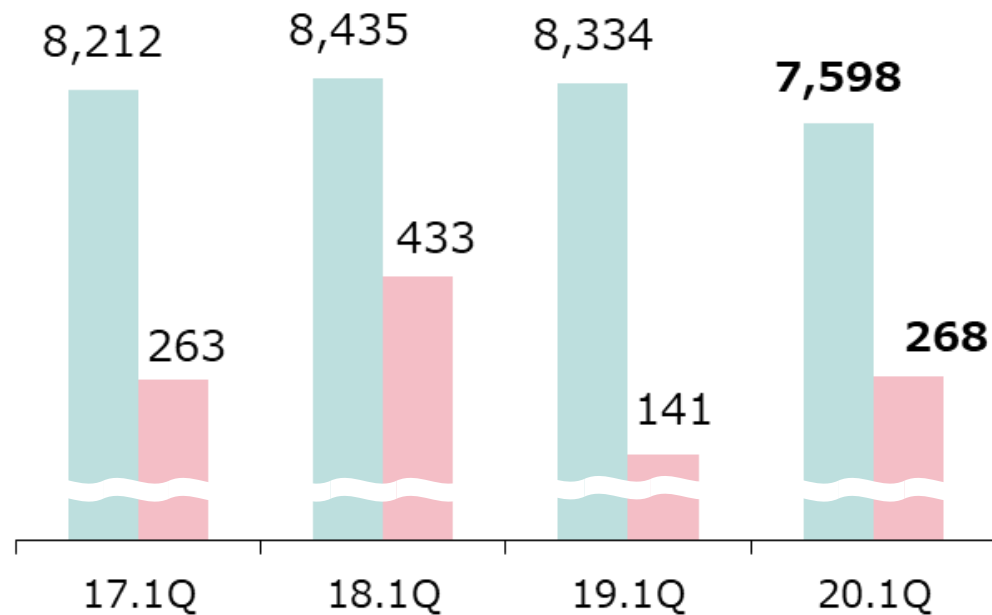




## 業績推移

単位：百万円

■ 売上高 ■ セグメント利益



地域別売上高	19.1Q	20.1Q	増減額	増減率
日 本	3,411	<b>3,370</b>	△40	△1.2%
グレーターチャイナ	2,476	<b>2,085</b>	△391	△15.8%
その他アジア	2,069	<b>1,867</b>	△201	△9.7%
北 米	377	<b>275</b>	△102	△27.1%
合 計	8,334	<b>7,598</b>	△736	△8.8%

※為替影響 △139百万円

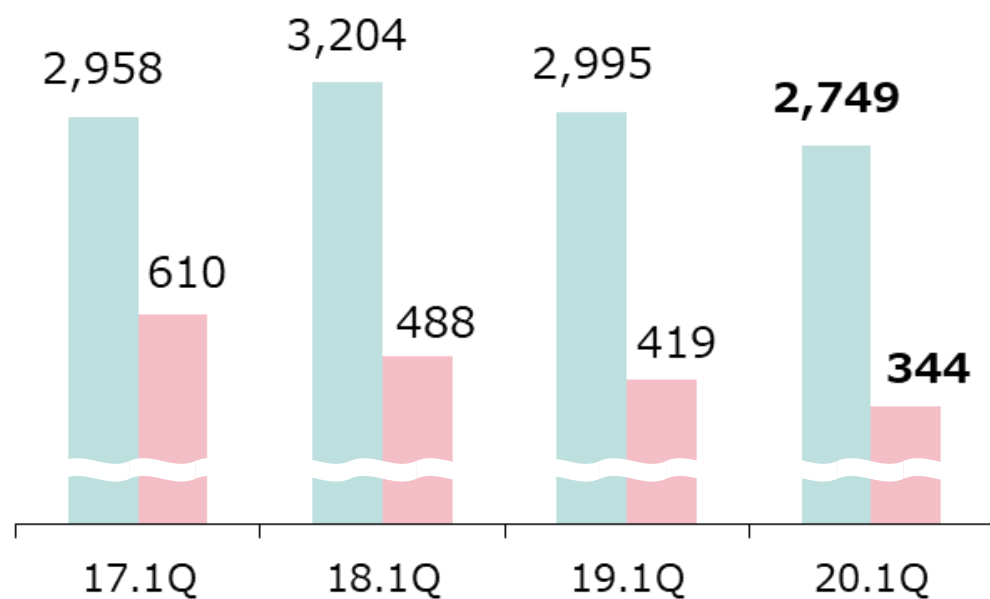
## 前期比概要

1. 中国／コロナの影響で稼働率が低く減収
2. 台湾／前年同期大手顧客の販売が多く減収
3. アジア各国／対アジア通貨円高による減収
4. ベトナム・バングラデシュ／繊維産業成長・開拓により好調
5. 国内／コロナの影響で業務用クリーニング 薬剤低調

## 業績推移

単位：百万円

■ 売上高 ■ セグメント利益



地域別売上高	19.1Q	20.1Q	増減額	増減率
日 本	2,624	<b>2,422</b>	△201	△7.7%
海 外	370	<b>326</b>	△43	△11.8%
合計	2,995	<b>2,749</b>	△245	△8.2%

※為替影響 △25百万円

## 前期比概要

1. 山田製薬／ODM事業大口顧客2.9億円減収で大幅減益
2. 山田製薬／ODM事業新規獲得好調
3. 国内デミ／ヘアケア・ヘアカラーの19年度新商品拡販で伸長も  
既存品落ち込み微減
4. デミコリア／コロナの影響による市況悪化と円高で減収

■ 特別損益は、投資有価証券売却益による特別利益が増加。

単位：百万円

	19.1Q	20.1Q	増減額	増減率
特別利益	33	<b>44</b>	+10	+32.3%
特別損失	4	<b>1</b>	△3	△69.4%

特別利益

・投資有価証券売却益	10
・補助金収入	33

# 2020年度 業績予想

---

- 新型コロナウイルスの感染が拡大し収束時期が見通せない現時点においては、合理的な業績予想の算定が困難であるため、通期業績予想及び配当予想を「未定」に修正。

単位：百万円

		2月13日時点	4月27日時点		
	2019年度 実績	2020年度 直近予想	2020年度 予想	増減額	増減率
売上高	46,191	48,000	未定	—	—
営業利益 (営業利益率)	1,395 3.0%	1,000 2.1%	未定	—	—
経常利益	1,334	1,000	未定	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	500	未定	—	—
年間配当（円）	16	16	未定	—	—

- 新型コロナウイルスの感染が拡大し収束時期が見通せない現時点においては、合理的なセグメント別業績予想の算定が困難であるため、通期業績予想及び配当予想を「未定」に修正。

単位：百万円

セグメント	2019年度 実績		2月13日時点 2020年度 直近予想		4月27日時点 2020年度 予想		前期比		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
	化学品	33,890	1,441	35,200	1,000	未定	未定	-	-	-
化粧品	11,399	1,687	12,200	1,800	未定	未定	-	-	-	-
その他	901	99	600	50	未定	未定	-	-	-	-
消去等	-	-1,831	-	-1,850	-	未定	-	-	-	-
合計	46,191	1,395	48,000	1,000	未定	未定	-	-	-	-

## 3. 参考情報

---

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、世界経済、社会生活への影響が多大となっている状況下において、当社グループは事業活動地域での感染拡大防止に努めるとともに、社員の安全を確保し、事業への影響を軽減すべく努力を継続しています。

現時点の当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策と稼働の状況は、以下の通りです。

## 1. 日本国内での状況

- ・工場、子会社を含む全拠点で、社員の朝晩の検温、来客の入場時検温等、徹底した安全確認を実施した上で稼働しています。
- ・本社においては、原則在宅勤務による勤務体系をとっています。
- ・各支店では、基本的に在宅勤務としています。
- ・国内、海外出張及び取引先との対面打合せを自粛し、Web会議や電話会議の積極活用を行っています。

## 2. 海外子会社での状況

- ・ほとんどの事業所において、日本国内に準じた対応で社員・取引先の感染防止対策を実施しています。

### (1) 中国

- ・春節前後からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、同国内における当社2工場は、春節後から2月中旬にかけて休暇延長等で稼働を停止しました。
- ・3月初旬にはほぼ全ての従業員の職場復帰が可能となり通常水準で稼働できる状態となっていますが、新型コロナウイルスの影響は繊維製品の主要輸出先である欧米においても多大であることから、繊維加工需要が低迷し受注が大きく減少しています。
- ・4月以降においてもさらに大きな影響を受ける見込みであることから、サプライチェーン全体の需給状況を確認しながら稼働調整を行っていく見込みです。

### (2) その他各国

- ・基本的には通常操業を行っていますが、新型コロナウイルスの影響により受注が大きく減少している事から、各国の状況に応じて工場等の稼働調整を行っていく見込みです。



商号：日華化学株式会社（証券コード 4463）

本社：福井県福井市文京4丁目23-1

創立：1941（昭和16）年9月15日

資本金：28億9,854万円

発行済株式数：1,771万株

決算期：12月31日

従業員数：連結／1,478名 単体／590名

（2020年3月31日現在）

事業内容：繊維を主とする各種産業用界面活性剤および化学品、化粧品等の製造・販売

上場証券取引所：東証1部、名証1部

Activate Your Life



この資料には、2020年4月28日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

<お問合せ先>

日華化学株式会社 戦略企画本部 IR担当

TEL:(0776)25-8584 (直通) FAX:(0776)25-4798

E-mail : matsushima@niccachemical.com